

～第1回里山探検隊～

ナンノ谷大崩壊地の見学を実施

平成29年8月30日(水)に開催した第1回里山探検隊(26名)において、明治28(1895)年8月5日(濃尾地震から4年後)に大崩壊したナンノ谷(揖斐郡揖斐川町坂内川上地内)の見学会を実施しました。

このナンノ谷崩壊地は、153万m³の土砂により天然ダムが形成され、1週間後に天然ダムが決壊し、旧坂内村の各集落で洪水氾濫して死者4名が犠牲になった災害です。現在は、災害発生から120年以上が経過し植生は戻っているものの、災害発生前とは大きく変わった地形などの様子を資料などを使い説明しながら見学していただきました。



※崩壊地(写真奥)



坂内白谷第1砂防堰堤
工事現場



第1回里山探検隊では、「坂内白谷第1砂防堰堤工事現場」「横山ダム」などを見学し、揖斐川町坂内坂本「もろかの里」で「手織り・ブラストアート」などの工芸体験を行いました。「普段立入りできない場所を見学させて頂き貴重な体験ができた」などの感想を頂きました。



開校式 事業概要説明



横山ダム堤体内



工芸体験(手織り)



ナンノ谷にて